

第3回アメリカ研修報告（2日目）

富山中部高等学校

7月4日（月）、研修2日目の空は晴天。本日はカフェテリアの場所を全員で確認するべく、7時半集合からスタートです。昨日オリエンテーションが終了した後、寮の部屋の電源がない、オートロックの部屋から鍵を持たずに出てしまったなどのトラブルがあり、生徒全員が就寝出来たのは深夜2時過ぎ。寝不足と疲労がたたってか、残念ながら2人の生徒が寝坊をしてしまいました。遅刻した生徒へは、他の仲間の貴重な時間を自分も背負っているという意識を再認識し、残りの研修に臨んで欲しい旨を伝えました。

さて、カフェテリアは、多国籍の生徒と交流を出来る絶好の機会となります。昨日積極的に動いていた生徒に刺激を受けるように、多くの生徒が台湾、ロシアなどからの留学生に声を掛けて一緒に朝食を囲み交流していました。話を広げられずに苦戦している生徒もいましたが、事前研修で準備した自分の武器10個を使って、なんとか会話を続けていこうという姿勢が多く見受けられました。



朝食のカフェテリアにて

朝食後は9時からプレースメントテスト、10時50分から現地語学団体Embassyスタッフによるキャンパスツアーへ参加しました。自分たちが使用できる施設を教えてもらい、早速ジムへ行く予定を組んだり、バスケットコートを確認したりなどのアクションが見られました。是非オンキャンパスプログラムの魅力の1つである、大学設備の使用も存分に経験して欲しいと思います。解散はカフェテリアとなりそのまま昼食を取りました。留学生の他に、教授はじめ大学関係者の方々が増えた室内で、席を見つけ出しアグレッシブにチャンスをつかむ姿が見られました。



2日目の集合写真 カフェテリア前



キャンパスツアースタート！

本日の午後とEveningアクティビティはEmbassy主催となります。午後はスカベンジャーハントを行い、Tufts大学最寄り駅のDavis駅周辺で与えられた課題をクリアすべく奮闘していました。本日の最高気温は26度であったものの、風はなく日差しが強い太陽に体感温度は30度以上の中、1時間半歩き回った生徒はヘトヘトで集合場所へ戻ってきました。その後夕食を取るべくカフェテリアへ直行しましたが、引き続き積極的に声を掛ける生徒もいれば、疲れをとるために仲間同士で食事をする生徒も見られ、Eveningアクティビティまでの過ごし方もバスケやテニスなど身体を動かしたり、部屋で休息を取ったり、自分の体調を考えてそれぞれの時間を過ごすしていました。Eveningアクティビティは他国からの留学生合同で、8時～10時までバスケ、サッカー、バレーなどそれぞれの生徒が希望するものを行い、10時～11時まで独立記念日の花火をボストン市街を一望出来るTufts大学内にある広場から見学しました。実にアメリカらしく開始時間が定かではなかったことや日本の花火の様に大規模なものを想像していた生徒たちにとっては規模が小さく感じたようですが、日本の花火文化の素晴らしさを実感するひと時になったようです。

研修もあっという間に2日目を終えましたが、緊張や疲れもあり、チームとして周りが見えていない生徒が多いように感じます。遅刻をしそうな生徒がいるのか、どのタイミングで点呼を取るべきなのかそうではないのかなどまだまだ人任せのような印象を受けます。ただ受け身の姿勢のまま研修を終わらせてしまうことが絶対無いよう、生徒たちの背中を押して参りたいと思います。



再集合後は答え合わせ



テニスチーム